

がっこう  
学校だより

平成22(2010)年2月1日



に ら り ん

# 日 輪

ほんこうきょういくもくひょう  
本校教育目標

ふれあおう  
たの  
しまう  
まな  
学びあおう

へいせい ねんど がっこう  
平成21年度2月号

よこはましりついできたしやうがっこう  
横浜市立飯田北小学校  
校長 巻木 博明

のこ かけつ  
残り2ヶ月となりました

こう ちやう まきき ひろあき  
校長 巻木 博明

新年を迎えたと思っていたら、あっという間に1月が過ぎて、2月(如月)になり、今年度も残すところ、2ヶ月となりました。今年は大寒(1月20日)の日が一番気温が高く、その後の方がまだまだ厳しい寒さが続いている状況です。時々、霜柱や氷を大層そうに手の平に乗せて、「校長先生、これ、すごいでしょ。」と言いながら登校して来る微笑ましい子どもの姿も目にします。

この時期は空気が澄み、雪化粧をした遠くの富士山と丹沢の山並みがくっきりと見えて、学校のおかれている環境の素晴らしさを実感できる時期でもあります。寒いとは言え、校庭の樹木に目を向けると、梅は今満開で、桃と桜とこぶしは開花に備えて蕾を少しずつふくらせ、それぞれが植物としての営みと成長を続けていることに気がきます。

1月21日(木)は授業参観・懇談会とその後のPTA臨時総会に、お忙しい中ご出席くださいまして、誠にありがとうございます。新型インフルエンザはほぼ終息に向かっていますが、季節性インフルエンザの流行が懸念されるので、ご家庭でも引き続き手洗いとうがいでの励行をお願いいたします。

## たいりよくぞうしん こんげつ なわとびげっかん 体力増進(今月は縄跳び月間)

1月22日(金)に本校を会場として区の球技大会が開かれ、いちよう小学校と上飯田小学校と本校の5年生が参加して、サッカーとバスケットボールの試合で技を競い合い、交流を深めることができました。一人ひとり、練習してきた成果をその子なりに発揮できたように思います。試合には勝ち負けがつきもので、当然のごとく勝ったチームの人は喜び、負けたチームの人は悔しがっている光景を目にしました。

当日を迎えるにあたって、5年生の皆さんは、朝練習と体育の時間に個々の技能とチーム力(チーム・ワーク)の向上のために一生懸命に取り組んできました。それと、6年生の皆さんが、昨年の経験を生かしてよき練習相手となり、アドバイスを与えてくれました。サッカーの方は、朝練習にも参加してくれました。

さて、今月は縄跳び月間です。子どもたちの体力の低下が叫ばれて久しいですが、次のようなめあてを掲げて取り組みます。

- ・縄跳び運動を通して、外遊びを励行し、寒さに負けない強い体をつくる
- ・縄跳びを通して、学級の連帯感を深めたり、跳び方を教え合う中で異学年との交流を深めたりする。

具体的な内容としては、一人ひとりに「なわとび検定カード」を配って、それぞれが目標を設定し、体育の時間だけでなく休み時間も主体的に取り組めるようにします。そして、その成果を発表できる場として、なわとび集会を開きます。

学校だけでなく、各ご家庭でも時間を決めて、親子で縄跳びに挑戦してみても如何でしょ

うか。縄跳びだけでなく、ランニングやウォーキングなどでも結構だと思えます。とにかく体を動かすことは、体力をつけるだけでなく、脳の働き（活性化）にも関連してくるそうです。以前、解剖学者である養老猛司先生のご講演をうかがう機会がありましたが、先生もそのお話の中で、このようなことを強調されていました。

## 障害をバネに

1月26日（火）に行った人権福祉教室では、横浜市立盲特別支援学校（所在地：神奈川県川区松見町）の栗山龍太先生に来ていただき、4・5・6年生を対象にお話をいただきました。

同伴者であるアイメイト（盲導犬）の「ダイアン君」のこととアイメイトの一般的なことについて、次のようなお話をしてくださいました。  
～ダイアン君はラブラドルレッドリバーという種類で、現在4歳で私と出会ってから1年8カ月になります。アイメイトの一生は、生まれて1年間人間が大好きになるようにパティウオーカーの家庭でやさしく飼われます。その後3ヶ月間はアイメイト協会で基礎的な技能の訓練を行い、その後飼い主（視覚障害者・ユーザー）とともに1ヶ月間の泊まり込みの訓練を行います。そこで相性等が合うと、飼い主の下でアイメイトとして8年から10年くらい活躍して、その後はボランティアの方などに引き取られて余生を過ごします。世話は毎日の食事・排泄にブラッシングと時々入れるお風呂です。人なつっこく、静かにじっと待てる犬でないとアイメイトとしての活躍（仕事）ができません。アイメイトは目の前の障害を避けてはくれますが、カーナビとは違うので、レフト・ライトなどと命令しないといけません。このようにコミュニケーションをとりながら歩くのは、楽しいものです。～

栗山先生ご自身のことについては、次のようなお話をしてくださいました。  
～中学1年生から2年生の時期に緑内障を煩って失明し、全盲の視覚障害者になってしまいました。それでも大学まで進んで、解剖学や医療、生理学、微生物学などを学びました。それで、現在勤めている盲特別支援学校では、18歳から60歳までの中途失明者の学生が鍼灸師やマッサージ師の免許をとれるように指導しています。大学に入ってから一人住まいを始めたので、一人で料理を作ったり、洗濯をしたりして生活してきました。今日は、東横線の妙蓮寺駅から横浜駅に出て、相鉄線の横浜駅からいずみ野駅まで来て、学校までは副校長先生の車に乗せていただきました。この経路の地図を駅の構内も含めて、前もって覚えてきました。～

子どもたちに向けて、まちでアイメイト（盲導犬）と歩いていたり、白杖をついて歩いている人を見かけたら、「何かお手伝いしましょうか。」とか「手伝うことができますか。」と声をかけてほしいとのアドバイスをいただきました。栗山先生の子どもたちに話しかける時の自信に満ちた話し方が、とても印象的でした。

## トイレ清掃が始まります

横浜市立小・中学校では、平成22年度より全校で、トイレ清掃を実施します。

本校でもこの2月から、自立心や公共心、思いやりや感謝の心を育てることをねらいとして、トイレ清掃を実施します。

本校では5年生と6年生が週2回（月・木）、清掃時間の中で主に自分たちが使用する4階の2カ所のトイレを清掃します。内容・手順としては次のようになります。

- ①床をほうきで掃く。
- ②柄付きブラシで便器の中をこする。
- ③スポンジモップで床を拭く。
- ④流し場を洗い、拭く。
- ⑤手洗い・うがいをする。

なお、下痢や嘔吐物があった場合は清掃は中止とします。また、技術員によるトイレ清掃は従来どおり行っていきます。

感染症予防のため、清掃後の手洗い・うがいは徹底していきます。趣旨をご理解の上、ご協力よろしくお願ひします。